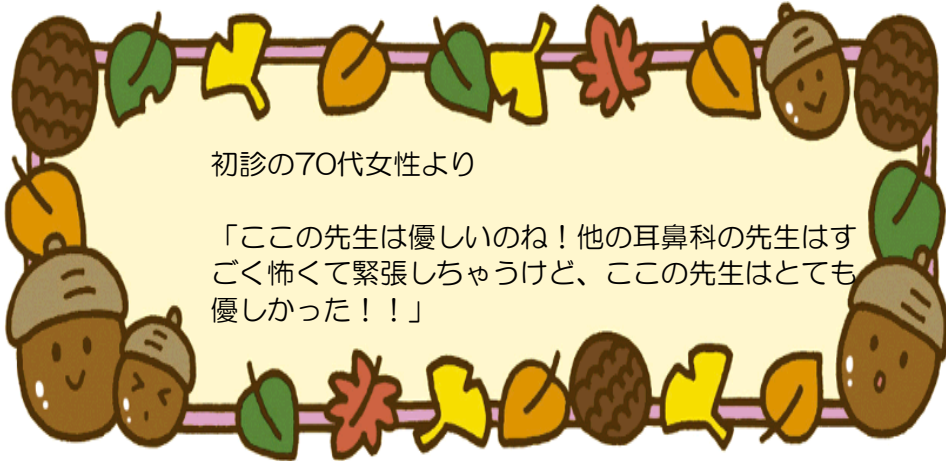


## 嬉しい便り・嬉しい話 2



初診の70代女性より

「この先生は優しいのね！他の耳鼻科の先生はすごく怖くて緊張しちゃうけど、この先生はとても優しくった！！」



ネブライザーの時に患者さんより

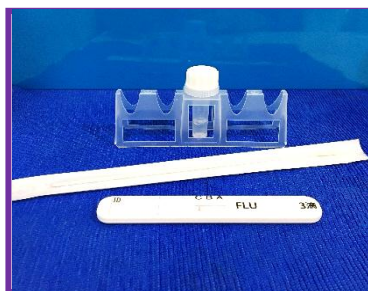
「先生丁寧に診てくれるから手帳も見てくれて…。良かったわ…。」



聴力検査後、患者さんと付添いの方の会話

「本当に良い先生に診てもらえて良かったね。これで安心して補聴器も検討出来るね。」

### \* インフルエンザの検査について \*



インフルエンザの検査は、滅菌綿棒を鼻腔内にしっかり挿入し、10回ほど擦るようして粘膜表皮を採取するので苦手な人には、少し苦痛を伴います。痛み等経験値の少ない子供にとっては痛い・怖いイメージがあり、なかなか自ら進んで検査に臨むには決心が必要かもしれませんね。

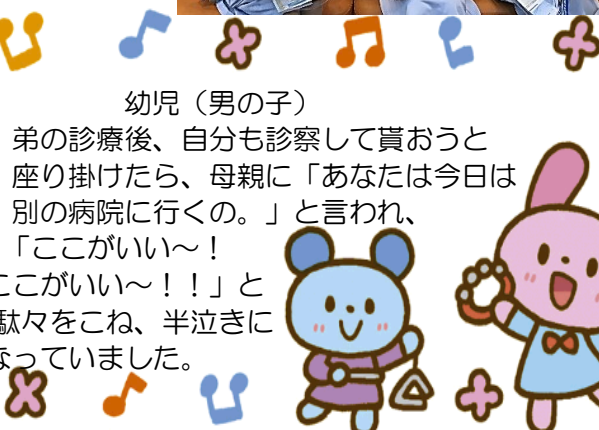
### \* 勉強会について \*

恐怖感という苦痛を少しでも和らげる様な声かけや対応が出来るよう、幼児の心理や高齢者の心理・・・等、研修や勉強会を定期的に行っています。



幼児（男の子）

弟の診療後、自分も診察して貰おうと座り掛けたら、母親に「あなたは今日は別の病院に行くの。」と言われ、「ここがいい～！ここがいい～！！」と駄々をこね、半泣きになっていました。



中学生の女の子

インフルエンザの検査の時、お母さんが「娘が、この病院じゃないと検査しないとと言うので、わざわざ連れてきました。検査してくれたので、これで安心です。」と感謝されました。

